

## みんなで考え、みんなで変わる ～今年度のセンター的機能の取組から～

教諭(兼)教育専門監 牧野 幸枝

今年度、センター的機能や専門監派遣での要請を受け、いくつかの園・学校で研修会を行いました。

子どもの理解・対応がテーマの研修では、下の図のような流れで「冰山モデル」を使った演習とグループ協議を必ず入れましたが、どの園・学校でも右端の写真のように、先生たちが活発な意見交換、情報交換をしてくださいました。子どもの行動の背景から支援を考えることで、子どもに“響く”対応につながりやすくなり、支援のバリエーションも増えること。さらにその支援は他の子どもたちにも役立つ、いわゆるユニバーサルデザインにもつながりやすいことなどを実感していただけた先生も多かったようです。



ある中学校では「対応の糸口がつかめない」として相談対象に挙げたA君について協議をしていただきましたが、途中からグループの垣根を越え、A君についてこんなやりとりが繰り返されました。

- 「少人数のグループだと、いい発言をすることがあるんだよね」
- 「実技でできそうなお手本をやってもらっています。注目されると張り切るから」
- 「部活では下級生に親切に声を掛けてあげてますよ」
- 「そう言えば、年下には優しいところがあるよね」

授業に気持ちが向かず、乱暴な言動が目立つA君。「どうしてそんな態度を取るのだろうか?」と背景をみんなで考えていくうちに、「できることや活躍する場面を増やしてイライラを軽減させれば問題を減らせるかもしれない」という話になり、結果的に「どうやって活躍の場面をつくるか」という方向で話が進んでいきました。協議の中で他の先生の話聞いて「そういう見方もあるのか」「対応のヒントをもらった」と感じた先生、自身の指導を振り返る中で普段の対応が実はA君への配慮になっていたことに気付いた先生もいらっしゃったようです。最終的には先に挙げたようなA君のよさが感じられるエピソードも紹介され、温かい雰囲気での協議になりました。

もちろん、協議でA君への対応の正解が出るわけではありません。協議を通して先生たちのA君への見方や対応が整理され、変わっていくことが、A君の変化につながるのだと思います。まずは大人が変わることも大切。きっと先生たちの変化は、A君のみならず、多くの子どもたちに還元されていくものになるはずです。

子どもは相手によって見せる姿が違いますから、関わる先生たちがチームになって意見を出し合い、対応策や役割分担を考えていくことが有効です。そのチームがうまく機能するようにお手伝いすることもセンター的機能の役割の一つです。来年度も気軽に声を掛けてください。小さな変化を一緒に積み重ねていきましょう。

# 卒業後の進路について

今回は本校高等部卒業後の進路について、小学部の PTA でお伝えしたことを紹介します。

社会に出るのは遠い先のことのように思っていて、今の生活とつながっているものです。まずは子どもたちを支援する大人が進路のイメージをもち、今できることを積み重ねていくことが大切です。

## 本校の過去 5 年間の進路状況

(令和元年度～令和 5 年度 普通科と総合サービス科を合わせて)

卒業生数	企業への就労	障害福祉サービスの利用						その他
		生活介護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援 A型	就労継続支援 B型	その他	
177	66	39	0	1	4	55	3	9

## 企業へ就労した生徒の業種と業務内容

業種	業務内容
介護補助	洗髪補助、レクリエーション補助、シーツ交換、利用者の衣類の洗濯等
清掃	テナント内清掃、トイレ清掃、ホテルの客室清掃・ベッドメイク等
事務補助(庶務)	データ入力、書類整理、敷地内清掃、図書館内カウンター業務等
製造業	電子部品製造、木製合板の製造
スーパー等 小売店	商品の陳列・補充、惣菜作り、野菜の袋詰め、カート消毒、ネットスーパーで依頼された物を集めて詰める、店内外清掃等
農作業	農作物の管理・栽培・収穫、除草作業等
自動車関連	洗車した車の拭き上げ、車内清掃、タイヤの移動・補充、店内外清掃等
飲食業	店内での注文取り、下膳、消毒、介護施設等の給食作り
看護補助	シーツ交換、病院内消毒、患者データの入力と整理
運送業	倉庫内ピッキング(倉庫内の商品を集める)、引っ越し補助

# 障害福祉サービスについて

## <生活介護>

常時見守りや支援を必要とする人が安定した生活を営むために、食事、排せつ、入浴などの支援のほか、創作的な活動や生産活動を提供しています。事業所ごとに特色のある活動が行われています。

## <就労継続支援事業(A型、B型)>

企業に雇用されることが困難な障害のある人に就労の機会を提供するとともに、生産活動及びその他の活動の機会を提供し、知識や技能の向上のために必要な訓練を行うサービスです。雇用契約を結んで利用する「A型」と雇用契約を結ばない「B型」の2種類があります。

### 【就労継続支援A型】

雇用契約を結び、賃金をもらいながら利用します。雇用契約に基づきながら企業への就労を目指します。

(令和4年度秋田県月平均賃金)

71,627円

(令和4年度全国月平均賃金)

83,551円

### 【就労継続支援B型】

通所をして軽作業等を行い、工賃をもらいながら利用します。就労に向けた支援を受け、A型や企業への就労を目指します。

(令和4年度秋田県月平均工賃)

16,433円

(令和4年度全国月平均工賃)

17,031円

## <就労移行支援>

障害のある人が企業への就労を目指す際にサポートしてくれる障害福祉サービスです。仕事に役立つスキルの習得や就職活動を支援し、就職後は職場で長く働けるようサポートします。

秋田市の障害福祉サービスの一覧は、秋田市のホームページに載っています。

秋田市のホームページ「くらしの情報」

→「障がい福祉」→「障害者総合支援法におけるサービス」

と進んでいくと、「施設・事業所案内」のページがあります。

マイクロソフトのエクセルのデータで、施設の場所や作業内容をはじめ、受け入れ人数や送迎・昼食提供の有無等を調べることができます。

## 今年度の栗田支援学校のセンター的機能による支援の実施状況

### ◇教育活動支援等 訪問回数 32 回(21校・園からの依頼がありました)

(今年度は、特別支援学級の学級運営、教育課程について、授業づくりについての相談や、通常の学級に在籍する「気になる子ども」への理解と対応についての教育相談が中心でした)

#### ・ 障害理解学習(小学校4校、中学校1校、高校2校)

(居住地校交流の事前学習だけでなく、道徳の学習等でも御依頼いただいています)

### ◇教育相談支援 相談回数 80 回(本人、保護者からの就学や進路に関する相談等)

…早めの見学や相談をしていただくことで、進路選択にじっくり時間をかけることができます。進路についての学習について、計画的な検討をお願いします。

#### ・ 幼児支援(くりたキッズルーム)…今年度は13名の利用がありました。

今年度も、関係機関の皆様には大変お世話になりました。次年度の依頼については、お早めに本校地域支援部にお問い合わせください。「切れ目のない、継続的なつながり」が重要になりますので、今後ともよろしく願いいたします。

## Kーラインの掲載内容に関するアンケートから

アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートの一部を紹介いたします。

### ◇支援の仕方について(教室環境や言葉掛けの仕方など)

- ・ アンガーマネジメントについての情報が有効だった。
- ・ 障害特性に応じた支援について、具体的な事例を含めて取り上げてほしい。

### ◇教材・教具について

- ・ 実践例の紹介コーナーが参考になった。
- ・ 国語や算数の教材教具等でおすすめのものを紹介してほしい。

このほか、卒業後の進路について取り上げてほしいという回答も多数いただきました。今回掲載した進路に関する内容をご参考にしていただけたら幸いです。次年度も皆様からいただいたご意見やご感想を基に情報発信していきますのでよろしくお願いします。

相談・見学の希望がありましたら、ご連絡ください

秋田県立栗田支援学校

教頭：田中紀和 教育専門監：牧野幸枝 地域支援部：照井真紀子

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

TEL：018-828-1162 FAX：018-828-4720

ホームページ <http://www.kurita-sakita-pref.ed.jp/>

メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp)

※相談は教頭まで

